

2022年3月期 決算説明会



株式会社エスライン

【東証スタンダード・名証プレミア 9078】

2022年5月31日(火)

2022年3月期 決算概要

営業収益	<ul style="list-style-type: none"> 2期ぶりの増収
利益	<ul style="list-style-type: none"> 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 共に減益
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> エスライングループ小牧物流センター新築（4月） …輸送機能と物流サービス機能の協業施設による業務の拡大 エスラインギフ川口支店改装（8月） …関東地区における輸送サービス事業の拡大 エスラインミノ新倉庫新築（8月） …お客様の業務拡大への対応 エスラインギフ戸田センター（3月） …関東地区におけるホームサービス事業の拡大
新型コロナウイルス感染対応	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策として、中部地区において、ワクチン職域接種を実施（9月）
人材活用の強化	<ul style="list-style-type: none"> 外部コンサルタントによる支店運営の為の教育を実施。 管理職・事務職を対象に社員研修を実施。



エスライングループ
小牧物流センター



エスラインギフ
川口支店



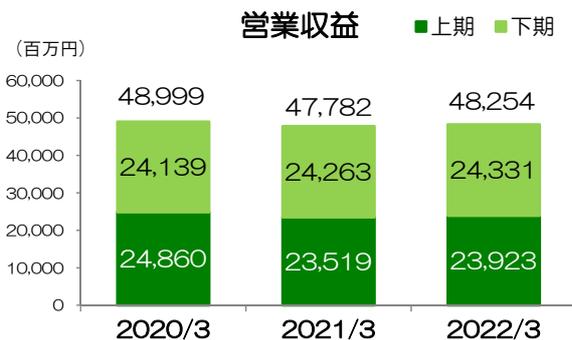
職域接種の様子

Copyright 2022 #Esライン

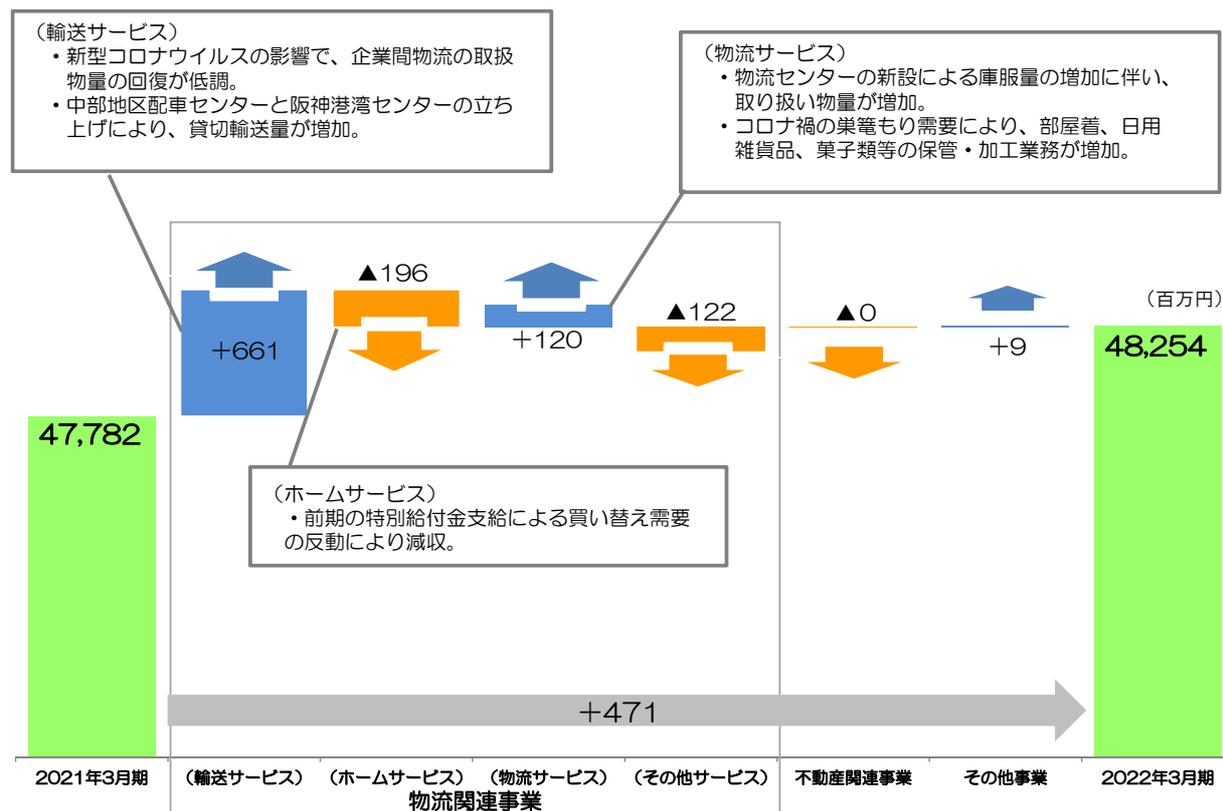
連結決算概要

(百万円)

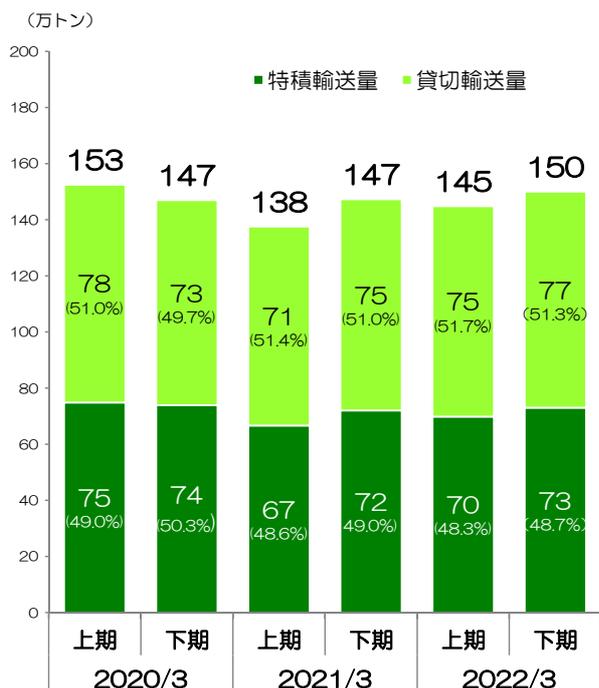
	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期			
						予想 2021年11月5日公表	実績	(前期比)	(予想比)
営業収益	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	48,600	48,254	1.0%	▲0.7%
営業総利益	1,416	2,700	1,307	3,145	1,445	3,300	3,059	▲2.7%	▲7.3%
(営業総利益率)	(5.7%)	(5.5%)	(5.6%)	(6.6%)	(6.0%)	(6.8%)	(6.3%)	-	-
販売費及び 一般管理費	855	1,726	809	1,641	879	1,750	1,744	6.3%	▲0.3%
営業利益	561	974	497	1,503	565	1,550	1,314	▲12.6%	▲15.2%
(営業利益率)	(2.3%)	(2.0%)	(2.1%)	(3.1%)	(2.4%)	(3.2%)	(2.7%)	-	-
経常利益	605	1,058	570	1,629	637	1,660	1,431	▲12.1%	▲13.7%
(経常利益率)	(2.4%)	(2.2%)	(2.4%)	(3.4%)	(2.7%)	(3.4%)	(3.0%)	-	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	311	3,118	384	971	436	1,050	966	▲0.5%	▲8.0%



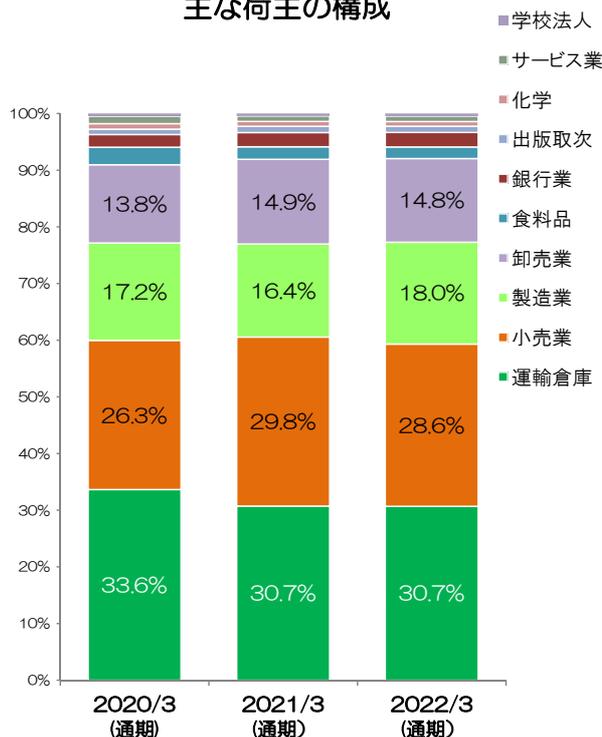
Copyright 2022 #Esライン



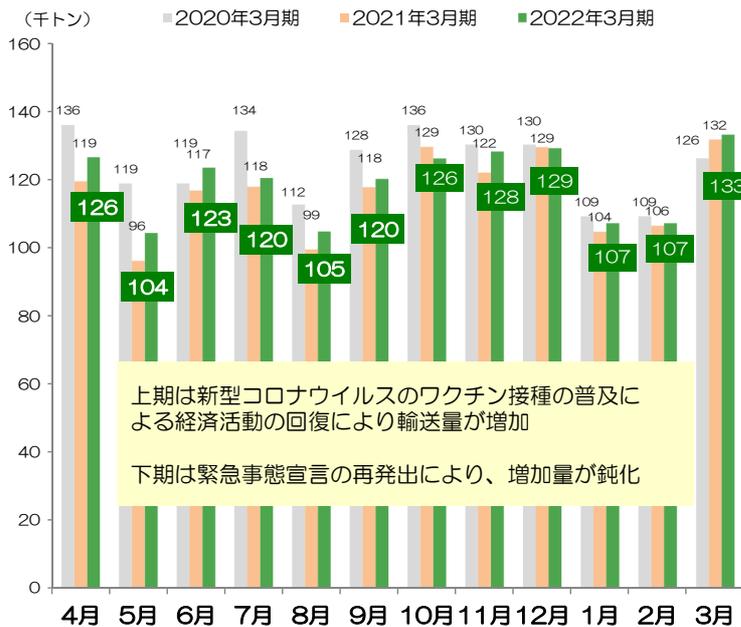
貨物輸送量の推移
（特積／貸切）



主な荷主の構成



月別特積貨物輸送量



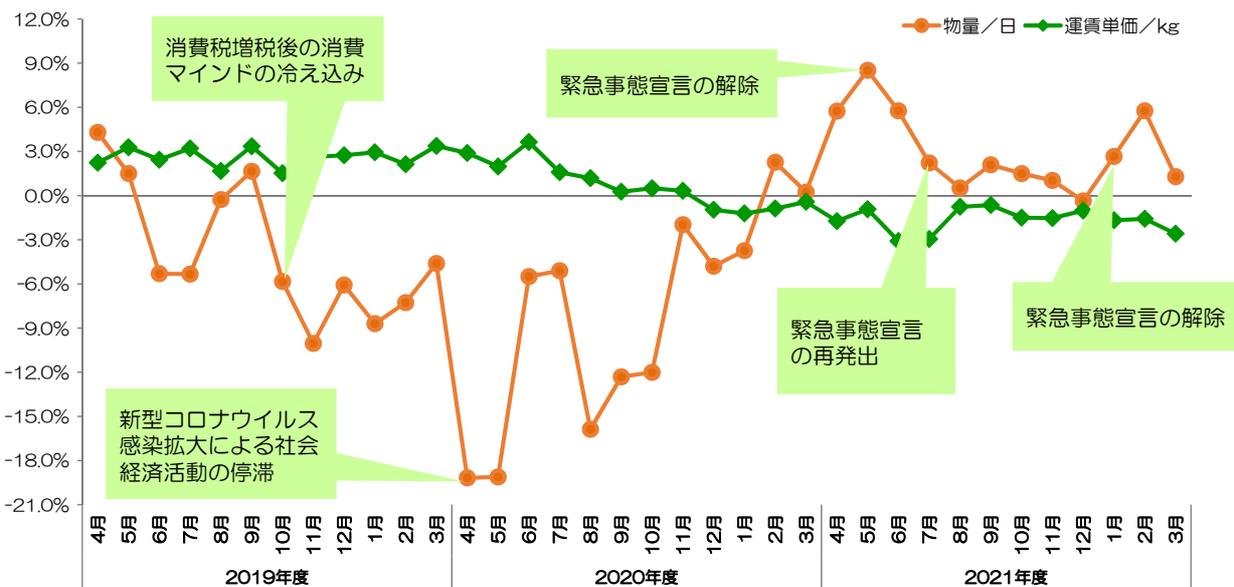
特積収入



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日数
2020/3	23	22	25	26	20	23	25	24	23	22	23	25	
2021/3	25	22	26	24	21	24	27	23	24	22	22	26	
2022/3	25	22	26	24	22	24	26	24	24	22	21	26	

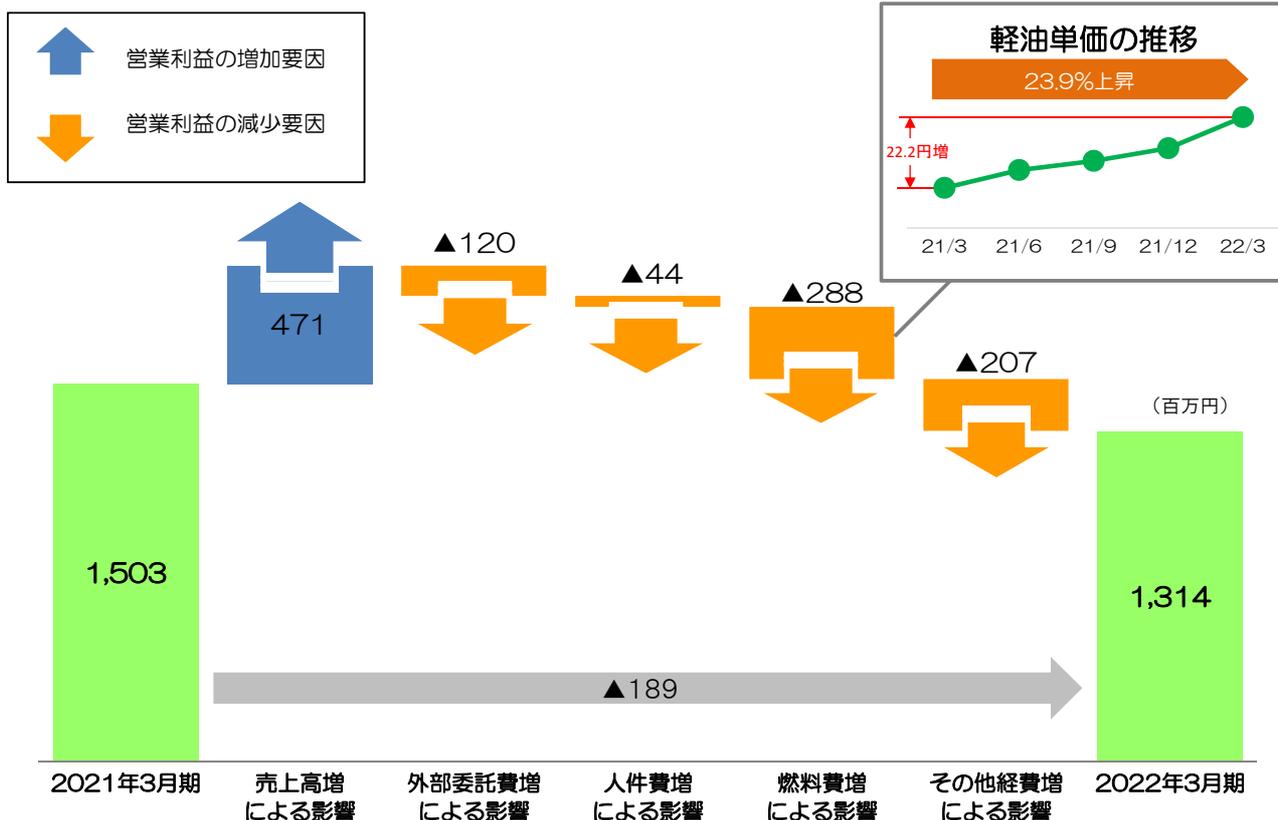
2021年3月期：286日 2022年3月期：286日（前期比±0日）

月別特積物量・運賃単価前年比増減率



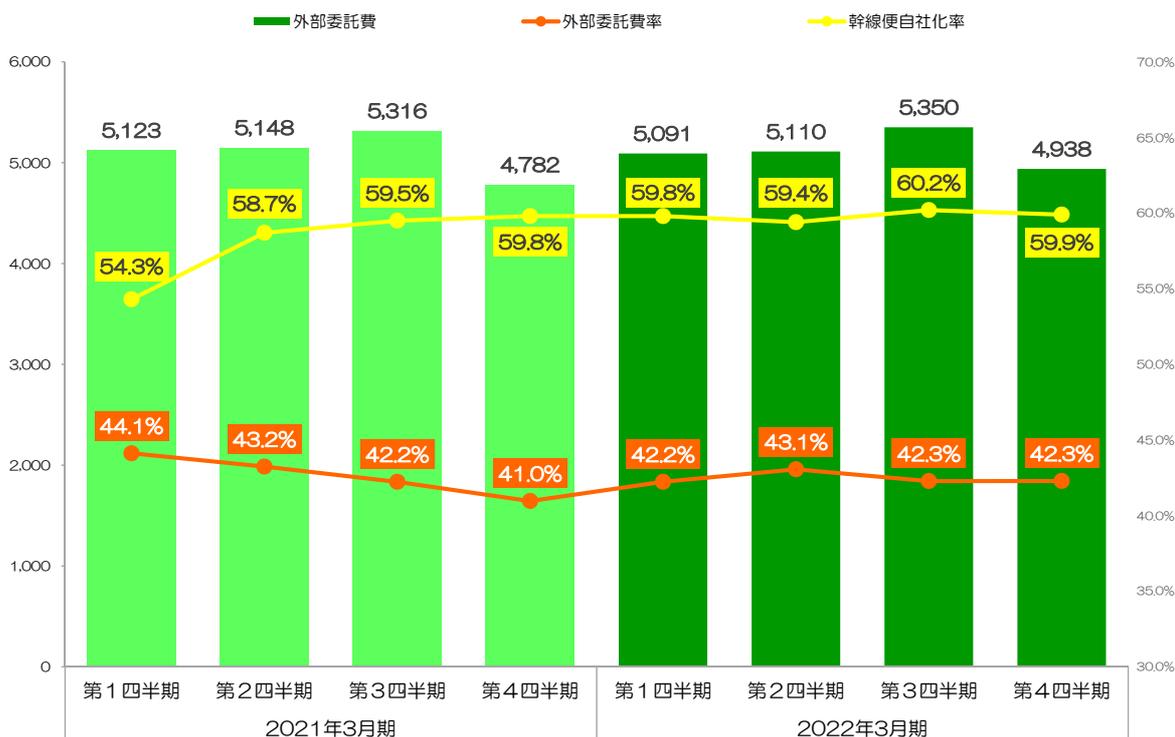
前年比増減率	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
物量/日	▲4.0%	▲8.3%	2.9%
運賃単価/kg	2.6%	0.7%	▲1.7%

営業利益の増減要因（連結）



自社化の取り組み

外部委託費、外部委託費率、幹線便自社化率
(2021年3月期～2022年3月期)



営業費用（人件費／燃料費）の推移

労務費・人件費



燃料費



セグメントの状況：営業収益

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期				
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期			
						予想	実績	(前期比)	(予想比)
営業収益	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	48,600	48,254	1.0%	▲0.7%
物流関連事業	24,433	48,178	23,138	47,024	23,538	47,830	47,489	1.0%	▲0.7%
輸送サービス	19,077	38,539	17,954	37,272	18,583	37,000	37,933	1.8%	2.5%
ホームサービス	3,095	5,215	3,105	5,340	2,730	5,300	5,144	▲3.7%	▲2.9%
物流サービス	2,173	4,251	1,994	4,245	2,202	5,360	4,365	2.8%	▲18.5%
その他サービス	88	173	84	168	23	170	46	▲72.6%	▲72.9%
不動産関連事業	252	487	225	449	224	450	449	0%	▲0.2%
その他事業	175	334	156	308	161	320	317	2.9%	▲0.9%

セグメントの状況：営業利益

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期			
						予想	実績	(前期比)	(予想比)
営業利益	561	974	497	1,503	565	1,550	1,314	▲12.6%	▲15.2%
セグメント利益	877	1,632	789	2,101	874	2,170	1,948	▲7.2%	▲10.2%
物流関連事業	708	1,332	627	1,790	715	1,850	1,643	▲8.2%	▲11.1%
輸送サービス	329	759	169	1,097	422	1,110	1,119	2.0%	0.8%
ホームサービス	254	339	288	363	178	350	324	▲10.7%	▲7.4%
物流サービス	117	205	163	316	107	375	189	▲40.1%	▲49.6%
その他サービス	8	29	7	13	8	15	11	▲15.3%	▲26.6%
不動産関連事業	129	233	115	234	120	240	242	3.4%	0.8%
その他事業	39	66	46	76	39	80	63	▲17.1%	▲21.2%
調整額（本経費）	▲316	▲658	▲291	▲597	▲309	▲620	▲630	▲5.5%	▲1.6%

連結貸借対照表の概要

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		
	第2 四半期	期末	第2 四半期	期末	第2 四半期	期末	
							増減
流動資産	10,707	13,674	11,556	10,580	9,099	10,554	▲25
固定資産	25,466	26,922	28,511	30,227	30,038	31,088	860
資産の部合計	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	41,643	835
流動負債	8,282	8,937	8,910	9,559	7,503	8,466	▲1,092
固定負債	6,881	7,838	6,921	6,327	6,496	7,516	1,189
負債の部合計	15,163	16,776	15,832	15,886	14,000	15,982	96
株主資本	20,799	23,519	23,794	24,292	24,522	24,964	671
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0
純資産の部合計	21,010	23,821	24,236	24,922	25,137	25,660	738
負債及び純資産合計	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	41,643	835
自己資本比率	58.1%	58.7%	60.5%	61.1%	64.2%	61.6%	—

有形固定資産の取得

借入の実行

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	期末	
						増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144	2,283	1,182	2,722	1,307	2,729	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,125	791	▲1,955	▲4,161	▲1,557	▲3,628	533
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲582	▲541	▲859	▲1,590	▲611	788	2,378
現金及び現金同等物の増減	▲563	2,532	▲1,631	▲3,030	▲861	▲110	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,432	4,432	6,965	6,965	3,934	3,934	▲3,031
現金及び現金同等物の期末残高	3,868	6,965	5,333	3,934	3,073	3,824	▲110

設備投資実績

■設備投資金額：2,909百万円

輸送・物流複合拠点

グループ 小牧物流センター



21年4月稼働／建築費：2,064百万円
延床面積：9,853㎡

物流サービス拠点

Esラインミノ 新倉庫



21年8月稼働／建築費：160百万円
延床面積：2,873㎡

輸送サービス拠点

Esラインギフ 川口支店



21年8月稼働／改修費：924百万円
延床面積：2,266㎡

ホームサービス拠点

Esラインギフ 戸田センター



22年3月稼働／改修費：78百万円
延床面積：1,663㎡

利益配当

安定的な配当の継続と業績に応じた適切な利益配分を行うよう努めると同時に、事業の効率化及びグループの成長に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。



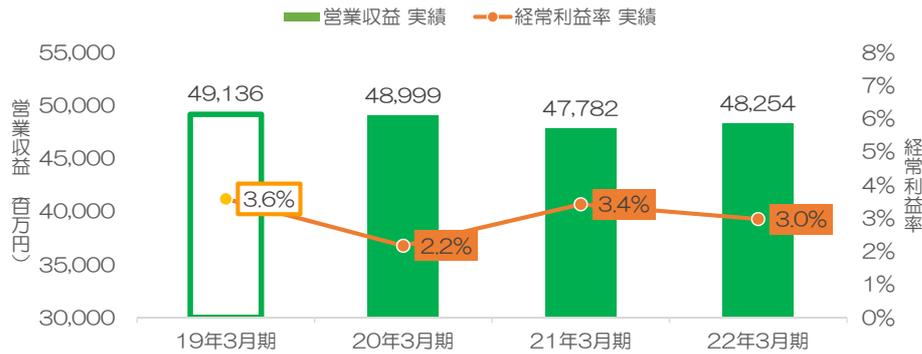
株主優待

決算期末の3月31日現在に単元（100株）以上保有されている株主様を対象に株主優待としてクオカードを進呈しております。

株数	保有年数	クオカード
100株以上	3年未満	1,000円分
	3年以上	2,000円分



前 中期経営計画
(2020年3月期～2022年3月期)
の総括



	前中期経営計画期間							
	19年3月期		20年3月期		21年3月期		22年3月期	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
営業収益	49,136	52,000	48,999	54,000	47,782	56,000	48,254	
物流関連事業	48,321	51,162	48,178	53,150	47,024	55,140	47,489	
輸送サービス	39,121	40,272	38,539	41,250	37,272	42,245	37,933	
物流サービス	4,038	5,747	4,251	6,385	4,245	7,050	4,365	
ホームサービス	4,980	4,977	5,215	5,325	5,340	5,645	5,144	
その他サービス	181	166	173	190	168	200	46	
不動産関連事業	467	489	487	492	449	492	449	
その他事業	348	348	334	358	308	368	317	
経常利益	1,756	2,000	1,058	2,250	1,629	2,570	1,431	
(経常利益率)	3.6%		2.2%		3.4%		3.0%	
減価償却費	1,671	1,752	1,768	-	1,810	-	1,918	
設備投資額	3,790	2,421	3,761	-	4,606	-	2,909	
ROE	4.7%		13.9%		4.0%		3.8%	

- 営業収益**
 主力の輸送サービスが新型コロナウイルスの影響を受け需要が伸び悩んだため、全体営業収益はほぼ横ばい。19年3月期比▲1.8% 当初計画比▲13.8%
- 経常利益**
 人手不足・休日配送対応で備車費・外部委託費等が増加する中、積載の可視化による積載効率向上（備車活用抑制）、走行経路の見直しによる配送効率の向上を図り、利益率を一定水準に保った。

設備投資実績（1）

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
減価償却費	1,768	1,810	1,918
設備投資額	3,761	4,606	2,909
主な設備投資の内容	車両購入 ……931百万円	車両購入 ……785百万円	車両購入 ……852百万円
	移動ラック式倉庫新築 ……74百万円 (Esライン郡上) 第3期工事	第3物流センター新築 ……554百万円 (Esライン物流)	川口支店改築 ……254百万円 (Esラインギフ) 第3期工事
	飲料自動倉庫新築 ……1,180百万円 (Esラインギフ)	大和倉庫新築 ……190百万円 (Esライン郡上)	新倉庫新築 ……160百万円 (Esライン)
	第3物流センター新築 ……1,075百万円 (Esライン物流) 第1、2期工事	小牧物流センター新築 ……2,064百万円 (Esラインギフ・Esライン各務原)	戸田センター改築 ……78百万円 (Esラインギフ)
		川口支店一部改築 ……670百万円 (Esラインギフ) 第1、2期工事	海老名支店新設 ……1,350百万円 (Esラインギフ) 土地・第1期工事

エスライン郡上 移動ラック式定温管理倉庫



19年5月稼働

スリーエス物流 第3物流センター



20年10月稼働

エスラインギフ 飲料自動倉庫



19年10月稼働

エスライン郡上 大和倉庫



20年12月稼働

施策達成状況の振り返り

基本戦略	実施結果	
事業構造の改革	事業構造構築 収益性向上	ワーキンググループの立ち上げ 「中部地区ドミナント戦略」「輸送ネットワーク」 「国際物流サービス」等
輸送サービスの 充実	輸送ネットワークの充実	九州地区の配送コース見直し等により配送スピードを向上
	輸出入貨物の拡大	阪神港湾地区にセンターの立ち上げ (該当地区を中心に取扱量を増加)
	省力化・システム化の推進	EDI化率向上・入力作業の省力化 輸送情報システム再構築
物流サービスの 拡大	一貫物流サービスの拡大	中部地区ドミナント戦略(名古屋港コンテナセンター) 「物流サービス機能」と「輸送機能」を併せ持つ物流 センターの開設(小牧物流センター) 3PL(お菓子問屋等で実績向上)
	自動化装置による新物流 センターの構築	飲料自動倉庫の開設 自動ソーターを具備した新物流センターの開設 (小牧物流センター)
ホームサービスの 成長	大型商品配送	収益性改善 ・組織構築や社員の育成 ・家電量販店との直取引化
	引越	「引越事業センター」の立ち上げ
働き方改革・ 人事制度の確立	採用拡大、待遇改善、労働環境改善、外部機関を活用した階層別の教育等	
ESGへの取り組み	太陽光パネルの設置・電気小型トラックの導入等	

新 中期経営計画 (2023年3月期～2025年3月期) の概要

新中期経営計画のテーマ

『ありがとう創造計画』



(テーマに込めた意味・思い)

- ・長期ビジョンで掲げるESラインビジョン『商品を送る安心と、受け取る嬉しさをつなぐ、ありがとう創造企業』を“具現化する中期経営計画”とする。
- ・荷物を運ぶ、保管するなど、最適な物流を提供する事で、お客様に「ありがとう」と思われる会社になる。また、働き方改革を通じ、社員からも「ありがとう」と思われる会社になる。
- ・たくさんの『ありがとう』を創造する3か年としていきたい、との思いを込める。

長期ビジョンの全体像

1.ESラインビジョン

『商品を送る安心と、受け取る嬉しさをつなぐ、ありがとう創造企業』

2.目指す事業像

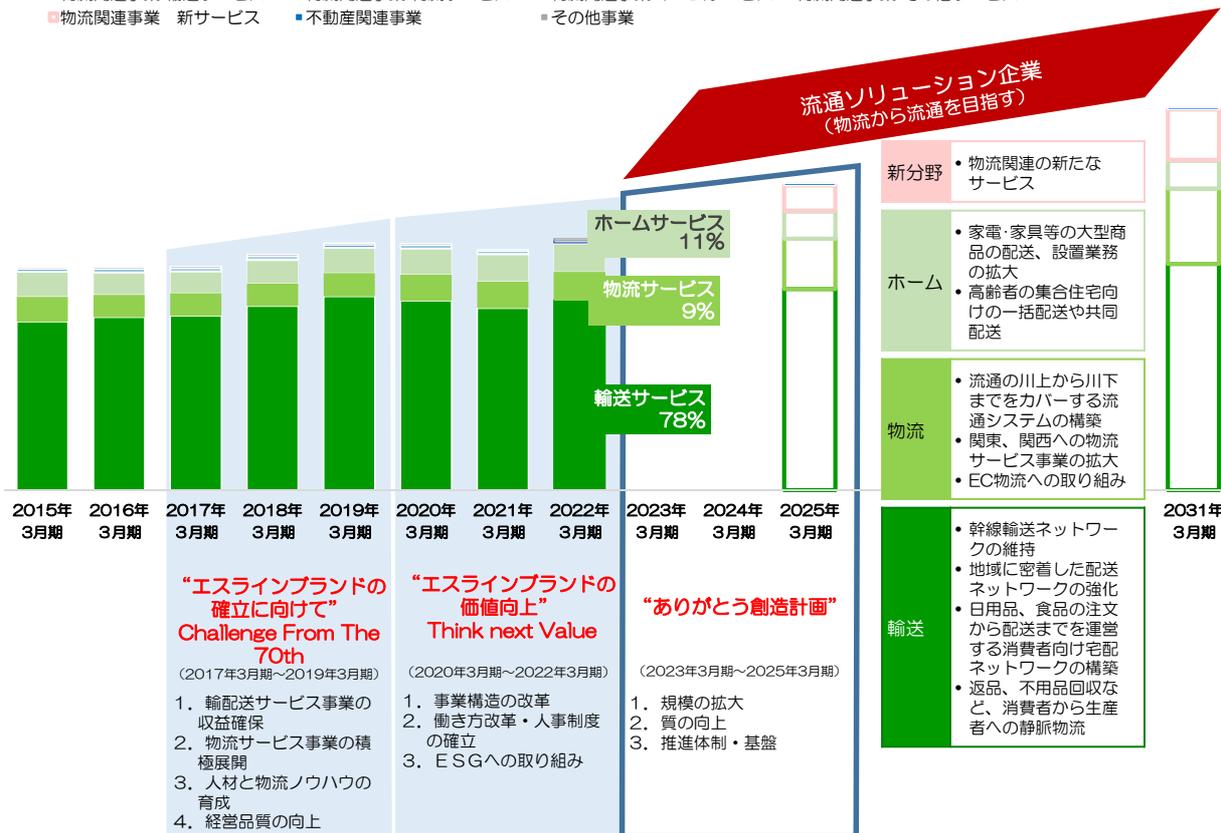


※1：「流通」とは、①物の流れ（物流）・②受発注等の情報の流れ・③決済等の資金の流れの3つを含む言葉。

※2：「ソリューション」とは、お客様の課題を発見・掘り起こし、その解決手段を提案すること。

⇒目指す事業像の「流通ソリューション」とは、「流通」の定義にある①～③を組合せたサービスを提供して、お客様の発展・成長に繋げること（小売販売や卸売等を指す言葉ではない）。

- 物流関連事業 輸送サービス
- 物流関連事業 物流サービス
- 物流関連事業 ホームサービス
- 物流関連事業 その他サービス
- 物流関連事業 新サービス
- 不動産関連事業
- その他事業



Copyright 2022 ㈱エスライン

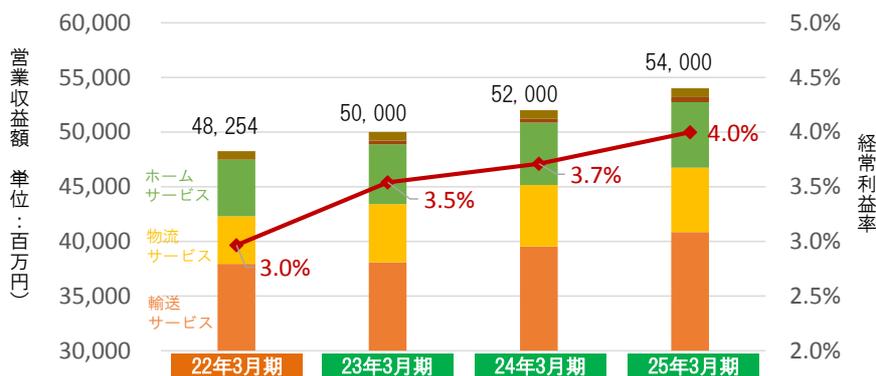
24

新中期経営計画 (2023年3月期～2025年3月期)

新中期経営計画のテーマ
(2023年3月期～2025年3月期)

『ありがとう創造計画』

棒グラフ：セグメント別営業収益、折線グラフ：経常利益率



	【前中期経営計画】			【新中期経営計画】								
	22年3月期		22年3月期	23年3月期		23年3月期	24年3月期		24年3月期	25年3月期		25年3月期
	営業収益	営業利益 (利益率)	営業収益	営業利益 (利益率)	営業収益	営業利益 (利益率)						
事業分野合計	48,254	1,318 2.7%	50,000	1,720 3.4%	52,000	1,880 3.6%	54,000	2,110 3.9%				
輸送サービス	37,933	615 1.6%	38,083	997 2.6%	39,533	1,113 2.8%	40,846	1,290 3.2%				
物流サービス	4,365	131 3.0%	5,317	322 6.0%	5,621	345 6.1%	5,895	375 6.4%				
ホームサービス	5,144	256 5.0%	5,476	212 3.9%	5,706	231 4.1%	5,998	260 4.3%				
流通・新規他	46	11 23.9%	343	10 3.0%	350	11 3.0%	460	17 3.7%				
不動産・その他・調整	766	305 —	780	180 —	790	180 —	800	168 —				
経常利益		1,431 3.0%		1,770 3.5%		1,930 3.7%		2,160 4.0%				
設備投資額		2,909		2,473		2,783		2,450				
ROE		3.8%		4.3%		4.6%		5.0%				

※営業利益は調整額を加味

Copyright 2022 ㈱エスライン

25

規模の拡大

- ① 確固たる収益基盤の構築
 - コロナ禍からの輸送需要回復を着実に取り込む
 - 新たな荷主開拓・荷主層の再編
- ② 特定の輸送・物流サービス（取扱商品、荷主層、地域、運送形態）を対象に、推進体制を重点的に強化
 - <例> 協力業者ネットワーク強化による貸切事業拡大、輸出入貨物の取扱拡大
 - 関東地区における物流サービス事業の強化
 - 大型商品配送事業の首都圏・中部地区の深耕、中部地区での引越事業強化
 - 流通機能の提供による輸送・物流ニーズの取り込み など

質の向上

- ③ 次世代を見据えた最新技術の導入とオペレーションの洗練化
 - 基幹システムリニューアルと併せた、輸送サービスにおけるDX推進
 - 倉庫の省人化・効率化への積極投資
- ④ 人材の質の更なるレベルアップのためのインフラ整備
 - グループとしての研修・人材育成強化
 - 採用・人材育成に資する新規事業の立ち上げ（例：研修会社、保育所等）

推進体制・基盤強化

- ⑤ グループとしての推進体制の再構築
 - 当社が中心となってグループ各社を統括・牽引するために、持株会社機能を見直す
- ⑥ 業績管理の中核である事業セグメント別業績管理のテコ入れ
 - 基準、システム、運用ルールの方から再構築を図り、正確な情報を提供できる姿の実現化

基本方針

既存事業	輸送サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特積事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍からの物量回復を確実に取り込む ・ 採算性への意識改革 ・ DX取組を通じた収益性改善 ・ 貸切事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 更なる需要（輸出入貨物の取引等）掘り起こしを企図
	物流サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東エリアにおける倉庫拠点網の拡大 ・ 営業体制強化による収益力拡大 ・ 近年中部エリアに新設・大幅改修した倉庫拠点の稼働率向上 ・ 倉庫の省人化・効率化の積極的推進 ・ 倉庫オペレーションの更なる高度化・専門化の追求
	ホームサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配送品質を向上させる事で、更なる収益拡大を図る ※大型商品(家電)配送事業、引越事業は当社toC物流として位置付け
流通分野 新規事業		<ul style="list-style-type: none"> ・ 流通ソリューション企業としての足掛かりを作る <ul style="list-style-type: none"> → 流通機能（受発注、代金決済機能、需要予測）の拡充 → システム提供、運用支援、輸送・保管と組み合わせた流通機能の一貫提供 ・ 本業の人材育成・採用強化に貢献し、過度な投資を必要としない事業を新規事業の有力候補と位置づけ、事業化を推進する ・ EC物流本格化を見据えたECサイト構築の試行 ・ 地域配送サービスの研究・展開
ESG		<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現、中長期的な企業価値の向上を目指して、環境・社会に配慮した事業運営 ・ グループ経営力を高めるためのガバナンス強化の推進 ・ 企業市民として、地域清掃や安全指導等の地域貢献活動

<エスラインギフ 海老名支店 完成イメージ>

- 建設地 : 神奈川県海老名市
- 延べ床面積 : 6,122㎡ (2階建)
- 稼働時期 : 2022年度中



東名・新東名高速道路・圏央道の3つの高速道路のインターチェンジへのアクセスが良く、また中部・関西からの玄関口でもあり、好立地であることから、取扱物量のさらなる拡大を目指し、お客様の流通網・物流システムの最適化にお応えできるセンターとして運営していく計画です。

ESGの具体的な取り組み

Environment 環境	Social 社会	Governance ガバナンス
<ul style="list-style-type: none"> リサイクル品の再販物流 EDI化率向上によるペーパーレス化の推進 資源の再利用 (雨水・太陽光) ダンボールリサイクル自社化 LED照明への切り替え 電気小型トラックの導入 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアパスの導入 社員教育制度の充実 運転免許取得支援制度の導入 保育施設の開設 女性ドライバーの採用 車両の安全装置の導入 街頭での安全指導 地域清掃活動 	<ul style="list-style-type: none"> グループ経営方針発表会の開催 協業施設での事業運営 (例：小牧物流センターでのグループ会社連携) 指名・報酬諮問委員会の開催 CGコードの実践

本日はご清聴ありがとうございました。



【お問い合わせ先】 株式会社エスライン 経営企画部
 TEL:058-246-6749 FAX:058-240-4850
 E-mail: keieikikaku@sline.co.jp

【免責事項】

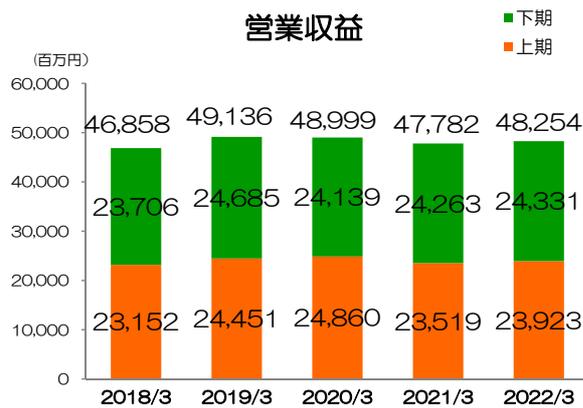
本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
 また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
 また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

参考データ集

連結業績推移

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期								
営業収益	23,152	46,858	24,451	49,136	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	48,254
営業総利益	1,460	3,107	1,765	3,439	1,416	2,700	1,307	3,145	1,445	3,059
(営業総利益率)	(6.3%)	(6.6%)	(7.2%)	(7.0%)	(5.7%)	(5.5%)	(5.6%)	(6.6%)	(6.0%)	(6.3%)
販管費	833	1,652	875	1,752	855	1,726	809	1,641	879	1,744
営業利益	627	1,455	890	1,687	561	974	497	1,503	565	1,314
(営業利益率)	(2.7%)	(3.1%)	(3.6%)	(3.4%)	(2.3%)	(2.0%)	(2.1%)	(3.1%)	(2.4%)	(2.7%)
経常利益	651	1,525	918	1,756	605	1,058	570	1,629	637	1,431
(経常利益率)	(2.8%)	(3.3%)	(3.8%)	(3.6%)	(2.4%)	(2.2%)	(2.4%)	(3.4%)	(2.7%)	(3.0%)
当期純利益	422	986	570	969	311	3,118	384	971	436	966



Copyright 2022 株式会社エスライン

32

連結業績推移 (セグメント別)

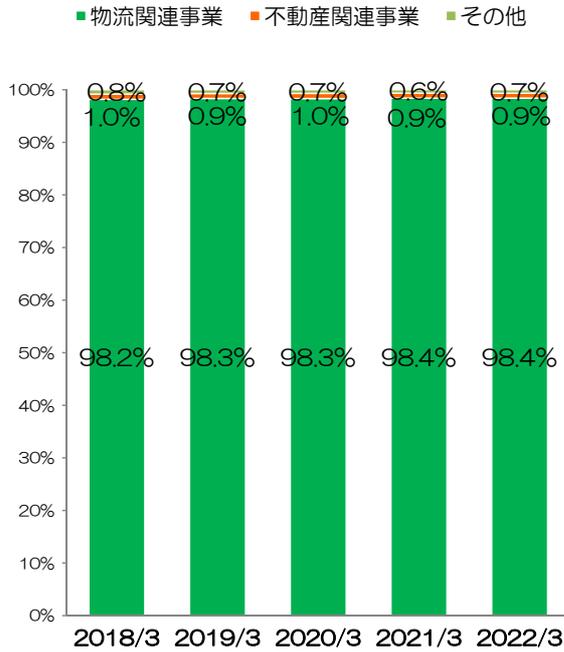
	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期								
営業収益	23,152	46,858	24,451	49,136	24,860	48,999	23,519	47,782	23,923	48,254
物流関連事業	22,720	46,004	24,033	48,321	24,433	48,178	23,138	47,024	23,538	47,489
貨物自動車運送事業	18,307	37,172	19,176	39,121	19,077	38,539	17,954	37,272	18,583	37,933
輸送サービス	2,471	4,605	2,853	4,980	3,095	5,215	3,105	5,340	2,730	5,144
ホームサービス	1,847	3,948	1,913	4,038	2,173	4,251	1,994	4,245	2,202	4,365
倉庫業	96	276	92	181	88	173	84	168	23	46
物流サービス	229	459	232	467	252	487	225	449	224	449
不動産関連事業	202	394	184	348	175	334	156	308	161	317
その他事業										

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期								
営業利益	627	1,455	890	1,687	561	974	497	1,503	565	1,314
セグメント利益	948	2,092	1,220	2,342	877	1,632	789	2,101	874	1,948
物流関連事業	783	1,775	1,066	2,042	708	1,332	627	1,790	715	1,643
貨物自動車運送事業	625	1,482	780	1,575	329	759	169	1,097	422	1,119
輸送サービス	83	138	189	256	254	339	288	363	178	324
ホームサービス	57	111	81	188	117	205	163	316	107	189
倉庫業	18	45	16	24	8	29	7	13	8	11
物流サービス	111	221	114	231	129	233	115	234	120	242
不動産関連事業	54	94	40	68	39	66	46	76	39	63
その他事業	▲321	▲637	▲330	▲655	▲316	▲658	▲291	▲597	▲309	▲630
調整額 (本社経費)										

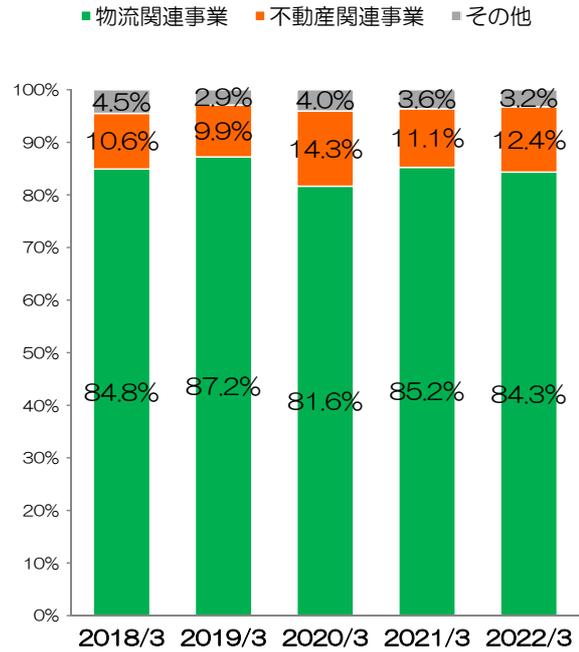
Copyright 2022 株式会社エスライン

33

営業収益

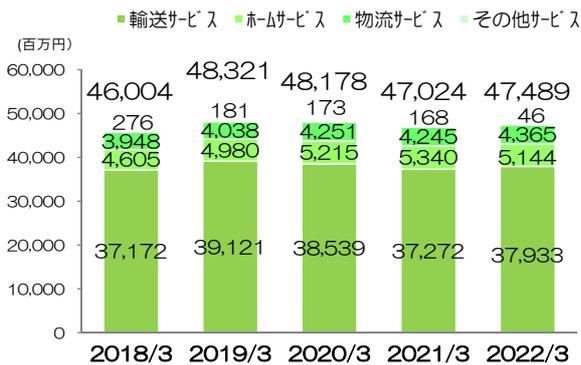


セグメント利益

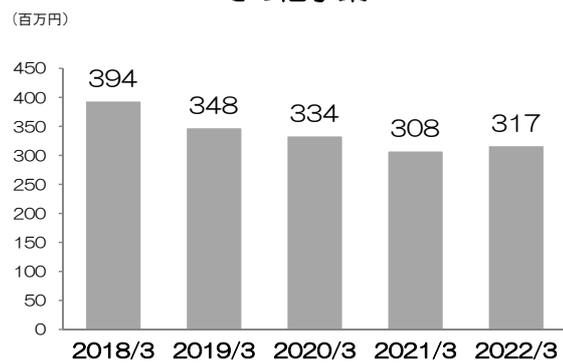


各セグメント状況（営業収益）

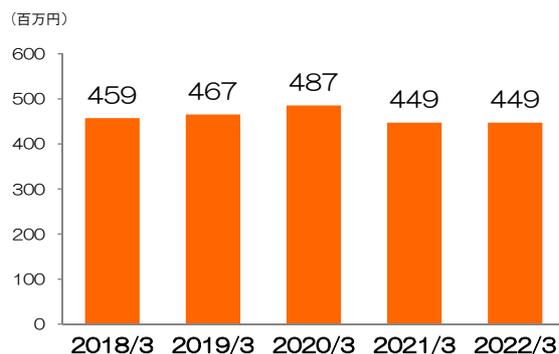
物流関連事業



その他事業

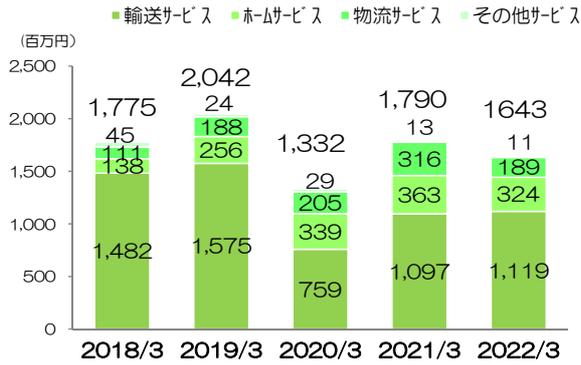


不動産関連事業

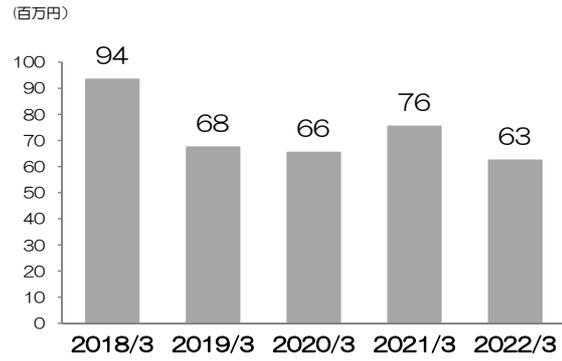


各セグメント状況（セグメント利益）

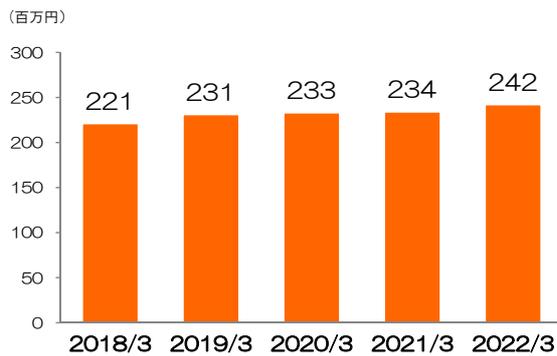
物流関連事業



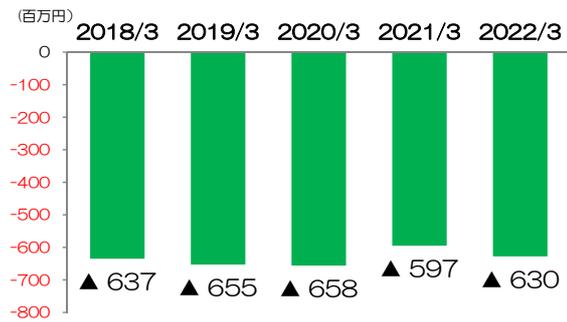
その他事業



不動産関連事業



調整額（本社経費）



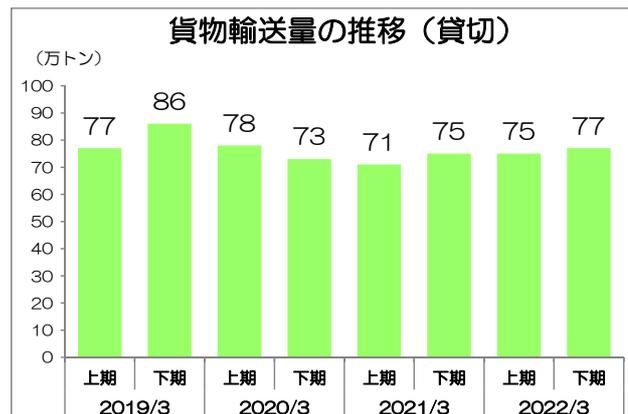
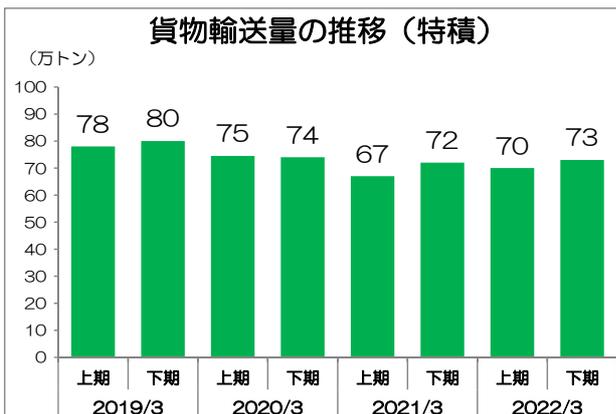
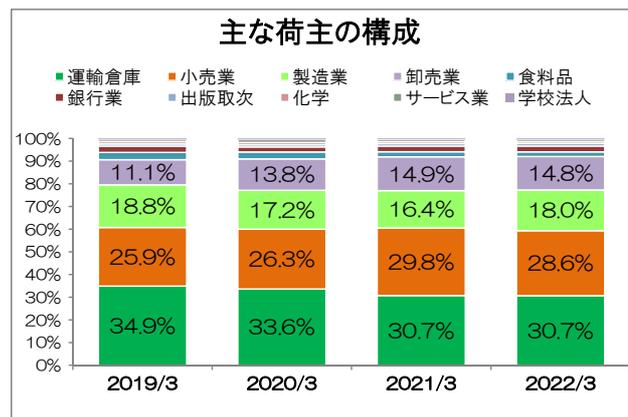
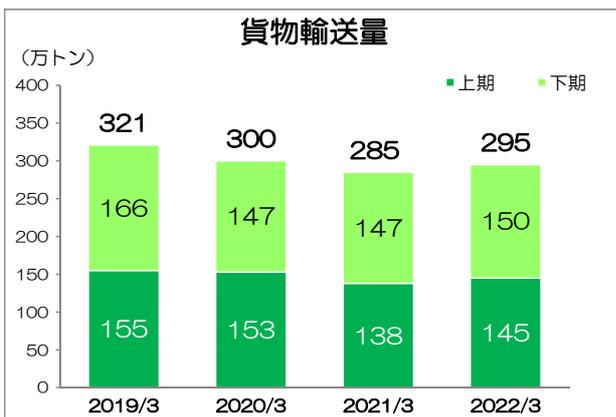
連結財務推移

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期								
流動資産	10,524	11,261	13,008	11,464	10,707	13,674	11,556	10,580	9,099	10,554
固定資産	22,857	22,793	24,071	25,214	25,466	26,922	28,511	30,227	30,038	31,088
資産の部合計	33,382	34,054	37,080	36,678	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	41,643
流動負債	7,408	7,945	8,756	8,409	8,282	8,937	8,910	9,559	7,503	8,466
固定負債	6,480	6,003	7,682	7,160	6,881	7,838	6,921	6,327	6,496	7,516
負債の部合計	13,888	13,948	16,439	15,570	15,163	16,776	15,832	15,886	14,000	15,982
株主資本	19,508	20,072	20,455	20,853	20,799	23,519	23,794	24,292	24,522	24,964
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純資産の部合計	19,493	20,105	20,641	21,108	21,010	23,821	24,236	24,922	25,137	25,660
負債及び純資産合計	33,382	34,054	37,080	36,678	36,173	40,597	40,068	40,808	39,137	41,643
自己資本比率	58.4%	59.0%	55.7%	57.5%	58.1%	58.7%	60.5%	61.1%	64.2%	61.6%
従業員数	2,100		2,084		2,107		2,145		2,131	

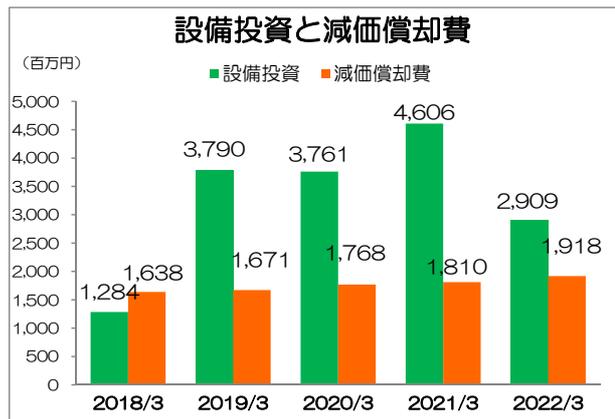
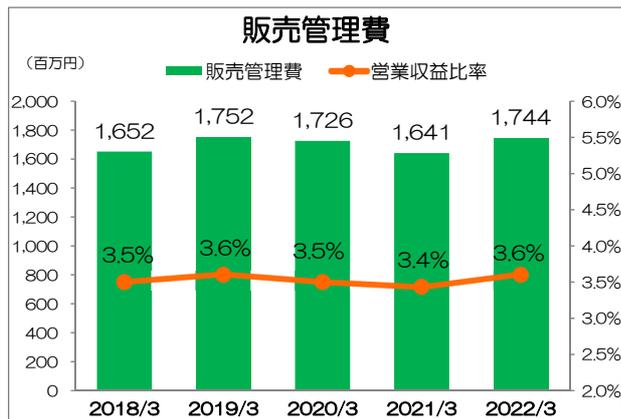
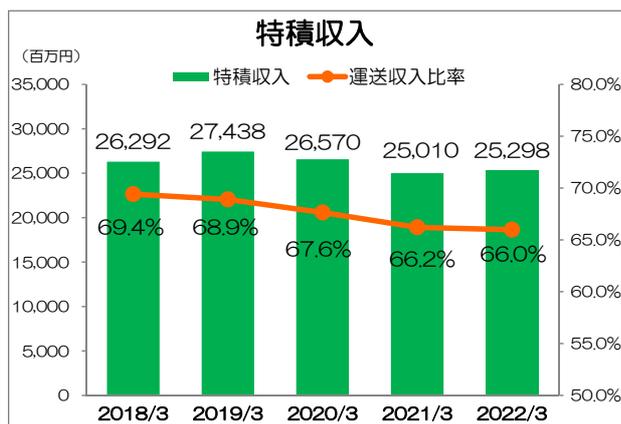
	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期								
1株当たり配当金	—	17.0	—	18.0	8.0	18.0	8.0	22.0	8.0	22.0
配当性向	18.6		20.5		28.4		6.3		22.5	

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業活動によるCF	1,269	2,773	1,286	2,600	1,144	2,283	1,182	2,722	1,307	2,729
投資活動によるCF	▲489	▲1,377	▲1,350	▲3,566	▲1,125	791	▲1,955	▲4,161	▲1,557	▲3,628
財務活動によるCF	▲86	▲350	2,197	1,388	▲582	▲541	▲859	▲1,590	▲611	788
現金同等物増減	693	1,046	2,133	422	▲563	2,532	▲1,631	▲3,030	▲861	▲110
現金同等物 期首残高	2,963	2,963	4,009	4,009	4,432	4,432	6,965	6,965	3,934	3,934
現金同等物 残高	3,656	4,009	6,142	4,432	3,868	6,965	5,333	3,934	3,073	3,824
設備投資費	324	1,284	1,751	3,790	1,296	3,761	2,172	4,606	722	2,909
減価償却費	824	1,638	814	1,671	881	1,768	890	1,810	951	1,918

その他参考データ①



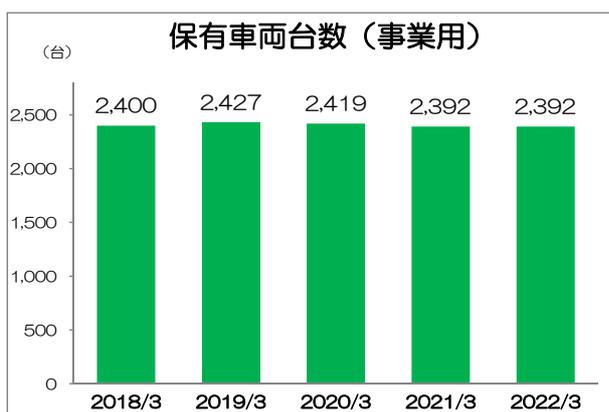
その他参考データ②



Copyright 2022 株式会社エスライン

40

その他参考データ③



Copyright 2022 株式会社エスライン

41



社員の
健康管理



きれいな
水作り



クリーンな
エネルギーの普及



情報技術による
安全確保



不平等の
是正



地域貢献



環境／気候
変動対策

■電気小型トラックの導入



納車式の様子

- ▶ 中部地区で5台、関東地区で3台導入
- ▶ 排出ガスを一切出さず、環境への負荷を大きく軽減
- ▶ 音や振動も少なくドライバーへの身体的負荷を軽減

■働きやすい職場づくり



小牧物流センター内に保育所を設置

- ▶ 労務管理の見直し
- ▶ 時間外労働の削減
- ▶ ドライバーの健康管理
- ▶ 免許取得支援制度の拡大
- ▶ 女性が働きやすい職場づくり
- ▶ 物流センター内に保育所を設置



エスラインギフ飲料保管用自動倉庫



■「省人化」「安全」「効率化」を実現

エスラインギフ飲料保管用自動倉庫（岐阜県羽島郡岐南町）

- 「自動ラックシステム」を導入し、約10,000パレット分の飲料が収容可能
- 保管商品の入出庫に最新の自動化設備を利用することで、「迅速」「安全」な作業を実現
- 「自動ラックシステム」では高さの制限を受けずに空間活用でき、この倉庫では9段積みと通常の倍以上の高密度保管による「効率化」を実現



無人台車によるパレットの搬送

■「集荷レス」を実現する物流センターの構築

スリーエス物流第3物流センター（愛知県一宮市）

エスライングループ小牧物流センター（愛知県丹羽郡大口町）

- DCセンター機能を有し、入庫～保管～加工～出庫～配送と一貫物流サービスの提供により、都度の集荷作業が必要なくなり、お客様の負荷軽減、ドライバー不足への対応に効果
- 小牧物流センターには自動ソーターを導入
- いずれも「省人化」「効率化」を実現できるセンターとして業容拡大に取り組む



スリーエス物流第3物流センター



自動ソーター
（1時間に約10,000個の
仕分けが可能）